

「北の防人たち」

防犯設備士 第 04-10348 号
青森県防犯設備協会 会長

山内 巨



青森県防犯設備協会 会長の山内です。

今回は、当協会が活動するにあたり、欠かす事の出来ない部署・人物の活動をご紹介していきたいと思います。

まず最初に青森県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策係課長補佐 青森県警部 栗田 政彦様をご紹介します。



栗田補佐

栗田警部は、住宅侵入犯罪抑止対策の企画立案を担う要職に就いている方で、青森県内の侵入犯罪の特徴から、無締まり箇所の対策が重要と捉え「カギかけ」運動の推進に最も重点を置いた施策を実施しています。

トピックスとしては、バラエティー番組やワイドショー等で大人気の「梅沢富美男」さんを、青森県警察・特殊詐欺被害防止広報大使に任命し、防犯広報を実施しています。この事が大反響を呼び、特殊詐欺被害が減少したとのことです。生活安全企画課には、当協会設立の際に沢山のご指導を頂き、現在もご助言を頂いております。

栗田警部からは「最近の犯罪は、凶悪残忍な特異犯罪が各地で多発し、市民感情としての体感治安の悪化が懸念されております。それらから、防犯意識の高揚・防犯機器設置の増加が窺え、防犯設備協会の果たす役割もますます高まるものと思われます。今後更なる活躍をご期待します。」とエールを頂きました。



「梅沢富美男」さんのポスター

次に青森県環境生活部県民生活文化課 交通・地域安全グループサブマネージャー 主幹 野呂 誠 様をご紹介します。



野呂主幹

野呂主幹は、安全で安心なまちづくりのための各種施策に取り組んでいる方で、春・秋の2回実施している、青森県知事主催の「安全安心まちづくり推進大会」を企画立案しております。



青森県知事の挨拶の模様

トピックスとしては「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」策定に関し有識者検討会を企画しており、当協会を含めた有識者等の意見集約に努力されています。県民生活文化課には、当協会設立の際にご助言・ご協力を頂き、現在もまたご助言頂いております。

野呂主幹は「県民の皆様と一体となり行政・県警・防犯協会・各種事業者などと連携・協働し、犯罪のない社会の実現に向けた取り組みを進めていきたい」と地域安全対策に向けた思いを語ってくれました。

次に公益社団法人 青森県防犯協会連合会 専務理事 藤沢 明 様をご紹介します。



藤沢専務理事

藤沢専務理事は、当協会の会員でもあり、青森県警察 OB で警察署の署長として地域の安全安心対策に尽力された方です。防犯活動の進め方としては、人作り・地域作り・ネットワーク作りが重要とのことでした。

トピックスとしては、取材前日(6/19)に総会が開かれ、青森県知事・青森県警察本部長・青森県議会議長等の出席を頂き、本年度の活動重点が決定され、防犯設備関係としては、「住宅対象侵入窃盗防止対策」が重点事項として採決された、とのことでした。

藤沢専務理事は「市民と手を携えて防犯活動を実施する理由は、『自分の安全は自分で守る』という基本に立った考えからです。」と自主防犯の大切さを語ってくれました。

次に青森県防犯設備協会副会長 合カギの山谷 代表 山谷 悦雄 様をご紹介します。



合カギの山谷 社屋



山谷副会長

山谷副会長は、青森県防犯設備協会設立時の発起人の一人として、協会設立にご尽力された方で、その当協会運営手腕は高く評価されています。また、業務範囲は、県警・青森県庁・裁判所・国の各機関・警備会社等多岐にわたり、幅広い人脈を駆使し、協会発展・会員確保に尽力している方です。

業務は、錠前屋として、玄関ドア・窓・勝手口等の錠前の製作・設置等を生業としており、事業を興してから

38 年になる超ベテランの職人です。その錠前専門という特殊技術を請われ現在は、日本ロックセキュリティ協同組合青森支部長の要職にも就いています。

トピックスとしては、昨年青森警察署長から防犯関係の功労者として、感謝状を授与され、自他共に認める、防犯設備職人です。

次に当青森県防犯設備協会理事 青森総合警備保障株式会社 津軽地区担当・青森支社長 取締役 濱田 孝明 様をご紹介します。



青森総合警備保障株式会社 社屋



濱田理事

濱田理事は、青森県防犯設備協会理事として、協会の企画・運営にご尽力されている方でその企画力はタイムリーかつ実施可能な提案が多く、役員の人望が厚い、組織人です。

また、濱田理事は、青森県下最大規模を誇る、青森総合警備保障株式会社に勤務し、取締役 青森支社長の要職に就いている方で、新潟の小 2 女児殺害事件を捉え、顧客の安全安心をお守りする警備業務の重要性を語ってくれました。

トピックスとしては、同社の社会貢献活動として、こども達の『あんしん教室』を開設し、こども達の事件事故防止につなげた地域活動をしている、とのことでした。

以上が、当協会の欠かす事の出来ない部署・人物のご紹介でした。

最後に、青森県防犯設備協会は設立 10 周年を迎える事が出来ました。

この文書を寄稿するにあたり、思う事は、日防設の方をはじめ、県警の方・青森県庁の方・防犯協会の方・会員各位等々皆様の支えがあつての今日であるという事です。その思いを胸に、今後更なる発展を目指していきたいと思います。